

第169回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成25年6月)

2013.6.27

株式会社 岩手朝日テレビ

第169回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 25年 6月27日(水) 午前11時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ3F大会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 7名

委員 長	村 田 久
委員	そのだ つくし
委員	小 松 豊
委員	畠 山 さゆり
委員	菊 池 勝
委員	田 口 幸 雄
委員	大見山 俊 雄

会社側出席者名

代表取締役社長	富 永 健 治
専務取締役	辻 一 成
取 締 役	長 生 正 広
報道制作局長	佐々木 貴
報道制作部長	伊 波 伴 准
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	柏 葉 智
番組審議会事務局	佐 野 尚

4. 議 題

(1) 合評番組

「BELIEVE ～被災地に生きる若者たち～」
放送日時：6月15日(土)午前10時50分～11時45分

(2) 7月単発番組及び6月の視聴率について

(3) 次回審議会

開 催 日：平成25年7月24日(水)午前11時～
岩手朝日テレビ 3F大会議室

合評課題：7月10日から開催される
「第95回全国高等学校野球選手権 記念岩手大会」

5. 概 要

- * 柏葉事務局長より7月の単発番組と6月の視聴率の内容が発表された。
- * 合評課題は「BELIEVE ～被災地に生きる若者たち～」
- * 震災を風化させず復興の動きを伝える、とても意義のある番組だった。
- * 若者たちの頑張っている姿を、とても気持ち良く見ることが出来た。
- * 番組を見ていて疑問に感じるところもあり、もう少し突っ込んだ取材をしてほしかった。
- * スーパーの色使いが気になった。

6. 議事の内容

柏葉事務局長) それでは、只今より、第 169 回岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。本日は合評課題番組におきまして、報道制作局佐々木局長、伊波部長が出席しています。宜しくお願いします。

それでは村田委員長、議事進行をお願いいたします。

村田委員長) お早うございます。社長、ご挨拶をお願いします。

富永社長) 先週の金曜日、弊社の株主総会が開かれました。IATで8年間報道制作担当を勤めました小椋取締役が退任しました。新たな常勤取締役としては、昨年8月から弊社に出向しています畠山が取締役になりました。あわせて隣にいます佐々木報道制作局長が役員待遇に昇格しまして、報道制作担当になりました。

今年度を実施する設備投資ですが、報道制作にかかわるものです。アーカイブシステムの導入と陸前高田に情報カメラを設置します。今後の番組作りに大いに役立てていきたいと考えています。以上です

村田委員長) ありがとうございます。それでは7月の単発番組と6月の視聴率の説明をお願いします。

柏葉事務局長) では、7月の単発番組と6月の視聴率についてお手元の資料によりご説明させていただきます。

まず、7月の単発番組です。ご覧のように、7月はスポーツ目白押しです。7月6日(土)午後1時55分から、高校野球岩手大会開幕直前スペシャルとして、HTB北海道テレビ放送制作「4番でエース～大谷翔平・道なき挑戦～」をお送りします。プロの世界での二刀流って本当に大丈夫？と思っていた方も、この番組をご覧いただければ、彼の目標の高さに驚かされ、きっと大谷選手ならできるはずという確信が芽生えると思います。

そして、7月10日(水)からいよいよ「第95回全国高等学校野球選手権記念岩手大会」が始まります。IATでは開会式から決勝戦まで高校球児の熱戦を岩手県営球場から連日生中継でお送りします。

また、期間中「スーパーJチャンネルいわて」内では岩手大会の熱戦の模様をダイジェストでお送りする「白球ダイジ

エスト」を放送します。さらに7月23日(火)からは、全国の各地方大会の熱戦の様や代表校の注目選手などを紹介する「速報!甲子園への道」をお送りします。

高校野球関連以外では、7月1日(月)朝4時から「第68回全米女子オープンゴルフ最終日」の様を、7月18日(木)からは「第142回全英オープンゴルフ」の熱戦の様をお送りします。先日の全米オープンゴルフで10位タイに入った松山英樹選手に注目です。また、7月19日(金)・20日(土)は「2013 マツダオールスターゲーム」をお送りします。大谷翔平選手は史上初となる高卒ルーキーの外野手部門でファン投票選出となりました。また、菊池雄星投手はファン投票で2位でしたが、今季既に8勝しているため、監督推薦当確となっています。2人のプレーが楽しみです。

7月20日(土)から8月4日(日)まで「世界水泳バルセロナ2013」をお送りします。この大会で日本水泳陣は、ロンドンオリンピックで戦後最多となったメダル11個(銀3個、銅8個)、それを超える史上最多メダル獲得を目指します。

続いて自社制作番組です。7月27日(土)午後3時から「全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 いわての牛乳カップ」を放送します。6月22日(土)、23日(日)、29日(土)に楽天イーグル岩泉球場、田野畑村営野球場、普代村北緯40度運動公園野球場の3球場で行われた子供たちの熱戦をダイジェストでお送りします。

次に、6月の視聴率についてです。お手元の資料をご覧ください。ご覧のように全日 7.2%、ゴールデン 12.0%、プライム 11.9%、プライム2 6.9%となり、全日、ゴールデン、プライム共に3位、プライム2は1位を獲得しました。

尚、プライム2は50か月連続1位を継続中です。6月はワールドカップサッカーアジア最終予選があり、御覧のように4日(火)の日本vsオーストラリアは、32.0%と高視聴率を獲得しましたが、6月は他局で岩手ネタの番組が多く、6月5日(水)はテレビ岩手が19時から放送した「プロ野球 巨人vs日本ハム」で大谷翔平選手が出場し視聴率16.4%、10日(月)はNHKが20時から放送した「鶴瓶の家族に乾杯」で鶴瓶と小泉今日子が久慈市を訪れて視聴率27.6%、13日(木)はテレビ岩手が午後9時から放送した「秘密のケンミンSHOW」で盛岡・大船渡を舞台にしたドラマを放送し、視聴率なんと36.6%とりました。さらに、めんこいテレビで8日(土)午後7時から放送した「AKB48 第5回選抜総選挙」が視聴率20.3%をたたき出したほか、「ガリレオ」など

のドラマが好調など、IATが通常視聴率が取れている番組の数字が食われ、また、4月クールのドラマ低迷も相まって、とても苦しい結果となりました。

しかし、4月クールでは、全日 7.6%、ゴールデン 12.8%、プライム 12.6%、プライム2 5.8%と全日3位、ゴールデン2位、プライム・プライム2が1位と2冠を獲得しました。本日、お手元に2冠の大入り袋をお配りしております。尚、4月クールでのプライム・プライム2の2冠は2005年以来2度目、ゴールデン2位は初めてです。7月の単発番組と6月の視聴率については以上です。

村田委員長) ありがとうございます。みなさんから何かございますか。何もなければ合評課題の「BELIEVE ～被災地に生きる若者たち～」を審議します。

大見山委員) 全体的な感想ですが、番組を見た後に若者たちを通じて被災地が少しずつ変化していることが良く分かった。ナレーションがさわやかで番組内容にあっていた。

気になった点もいくつかあります。全体的では、震災以降の番組に一般視聴者が食傷気味になっているせい、インパクトに欠けたようだ。震災復興を忘れてはいけないという気持ちはわかるが、その思いをサラッとしか受け止められなかった。今後の番組作りの難しさを感じた。タイトルの「BELIEVE」もいまいちピンとこなかった。若者たちの語る夢とつながらなかった。

菊池委員) 若者の頑張りが良く分かったので良かったなど。個人的には同世代の若者たちに見てもらいたいと感じた。

個別には山田町の白野さんは相当な覚悟で漁師になったんだなど強い決意を感じた。材木町のよ市のシーンでは、待っているお客さんがいるから死んだ兄の跡を継いだのかなど。沿岸地域はもともと過疎化が進んできていたので、都会とのつながりという点では若者の力に大いに期待しているし、もっとも大事なところである。うれしい活動をしていることには間違いない。

小松委員) 山田・陸前高田・釜石と3カ所の話がうまく分かれていて理解しやすかった。最初の山田町の白野さんは兄が亡くなったということで常に悲しみを背負っている姿がよく表現されていた。陸前高田の三井さんは山田の白野さんとは好対照。パソコン教室を通じて地元の人たちの信頼を得ている様がよく分かった。どうやって生計を立てているのかという情報が

知りたかった。将来的な道筋をどう描いているのか、興味を持った。ナレーションが内容を邪魔せず馴染んでいたようだった。

そのだ委員)

ナレーションは良かったが、山田の白野さん一家のシーンで兄が亡くなった部分でも声のトーンが同じ調子だったので気になった。インタビュー時の字幕の色が赤だったのは合わないような気がした。

陸前高田の三井さんの日本を動かすほどの自信に満ちた発言には頼もしさすら感じた。三井さんだけで番組が作れるかも。釜石の三嶋さんらは合唱がきれいで、ソロでも聞いてみたかった。

被災地を生きる若者というタイトルなので、3人とも年齢的にはちょうど良かったと思うが、その下の世代も見てみたかった。エンディングの夕日がとてもきれいで閉め方がうまかった。

田口委員)

前回の合評課題とつながるような内容だった。震災を風化させず、被災地の様子を内陸に住む私たちに定期的に見させるのは良いこと。サブタイトルと同様、若者たちの生き方に密着していて共感が持てた。山田の白野さんは、初めは頼りない印象だったが、兄がやっていたよ市での交流を糧にしながら、成長を予感させる感じで良かったと思う。陸前高田の三井さんらは、やるべきことを見つけてそれに邁進する、エネルギーがすごいと感じた。何かをやってくれそうな期待を感じさせる。こういった若者が増えていけば復興への助けになっていくと感じる。釜石高校の合唱部は少々インパクト薄かった。

畠山委員)

取り上げた3人のバランスも良く、さすがだと思った。震災という不幸を転機にして若者がどう変わっていくのか。興味を持てる内容だった。山田の白野さんは見るからに頼りなかったが、両親や亡くなった兄が築いた道を、ここしかないという気持ちを持って臨む姿に心を打たれた。陸前高田の三井さんの場面では、周りの人たちの評価が続かないだろうから頼りにしているに変わっていったところがすごいと感じた。

村田委員長)

被災地での若者の生き方を3人にスポットを当てたドキュメント風な内容。山田の白野さんは亡くなった兄の跡を継いで、家族との絆や客とのつながりを経て成長していく過程が理解できた。父親の話す言葉が難しく、テロップやナレーションのフォローがなかったのが残念。陸前高田の三井さんに

については、収入面に興味を持ったが触れられてはいなかった。大事な部分だと思ったのだが、これは説明不足。きちんと取材をしないと単なるパフォーマンスになってしまう。

全体的にはバラエティーに富んでいるし、意義のある番組と思うが、少し物足りなさも感じてしまう。もう少し掘り下げた取材、丁寧な聞き取りとか必要ではなかったか。

佐々木
報道制作局長)

委員の方たちの意見に陸前高田で活動する三井さんの団体についてご質問がありましたのでお答えします。現地本部というのが三井君たちですが、東京での社会人団体とつながりがあって野菜を首都圏で売るなどして収入を得ています。現在はNPO団体ではありますが、最終的には企業化を目指しているようです。一方では首都圏から若者をたくさん呼んできて交流事業を行う考えのようです。青臭いと言えばそうなのだが、星雲の志という部分もあります。

村田委員長)

そういう意味では頭が下がるよね、今の若者を考えると。そのほか何かございますでしょうか。無ければ事務局から次回の内容について説明ください。

柏葉事務局長)

それでは、次回についてご説明いたします。次回の番組審議会は7月24日(水)午前11時からこちらの3階会議室での開催となります。

合評課題は、7月10日から開催される「第95回全国高等学校野球選手権 記念岩手大会」の中継を合評課題とさせていただきます。期間中、開会式や試合どれをご覧いただいてもかまいませんので、是非、貴重なご意見を頂ければと思います。宜しくお願い申し上げます。

本日は貴重なご意見、ありがとうございました。

村田委員長)

そのほか何かございますか？無ければこれで終わります。ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置
ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。
系列各局に議事録を送付。
本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。
インターネットホームページに掲載。
9. その他の参考事項
特になし
10. 配布資料
 - ◎ 7月単発番組編成予定表
 - ◎ 6月岩手地区視聴率